



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

森を育ててお菓子を創る

町田 啓介

(まちだ けいすけ)

お菓子な郷(くに)推進協議会 会長



○ 登録者情報

所在地

埼玉県秩父市

略歴

元・内閣官房「地域経営の達人」認定。元・埼玉県商工会議所青年部連合会会長。元・埼玉県旅館組合青年部部長 元・埼玉県外国人観光客誘致委員。

<以下現職>

埼玉県観光の維持・復興プロジェクト委員。秩父商工会議所副会頭。秩父観光協会秩父支部副支部長。秩父案内人くらぶ会長。秩父地域インバウンド協議会会長。お菓子な郷推進協議会会長。秩父広域市町村圏組合水道事業経営委員。(株)和銅鉱泉旅館・代表取締役☆ゆの宿和どう☆秩父菓子処栗助☆茶房レストラン春夏秋冬。

<受賞歴など>

中小企業庁&総務省優良モデル事業。内閣官房&農林水産大臣賞(2度)。埼玉県農林業大賞。埼玉県より本多清六賞。埼玉県経営革新モデル企業。地域整備事業財団よりふるさと企業大賞など。

○ 森を育ててお菓子を創る

取組の内容

平成15年3月にお菓子の需要創出を目指して協議会を設立。

<カエデ活用事業>

平成17年に地域に自生しているカエデに着目、調査研究事業を開始。同年、メイプルシロップの大生産地カナダ・ケベック州を視察し現地の専門家や日本人会とのネットワーク構築。平成18年国内初となるカエデ樹液からメイプルシロップが完成。同時に完成したシロップを活用したお菓子開発に着手。一般市民(女性中心)や行政、専門家などの審査会を3度おこない、カエデ菓子6品が完成。平成19年に販売開始したが3ヶ月で完売。年々樹液採集の量も増え、平成23年に通年販売が可能になりました。平成20年から世界食品コンテスト・モンドセレクションに出品し3年連続入賞の栄誉を受けました。並行して、傷んでいる秩父の山々へのカエデ植林事業をボランティア団体や小中学生等と連携しながら開始。最近では域外団体と連携した植林事業も継続中。また、カエデ菓子開発後10年長が過ぎ、マンネリ感を打破すべく令和元年より日本商工会議所と連携してリ・ブランディング事業にも着手、売り場拡大も成功。

<カエデのラムネ、かえでのお酒、開発事業>

カエデの多用途活用事業により、秩父酒販組合と連携しカエデ樹液を使用した「かえでのお酒(発泡酒)」の開発、販売開始。葉っぱを活用してカエデのお茶を抽出、これを使用した「カエデのラムネ」も開発、販売開始。

<太白芋活用事業>

秩父地域でしか生産されなくなった太白芋のB級品(捨てられる品)を活用したお菓子開発も成功、販売を開始。



秩父産カエデの樹液とメイプルシロップ



首相官邸での表彰式&懇談会

実績

我々の事業に注目したメディアが多く取り上げていただき、NHKを始めとするテレビ、新聞、情報誌、官報など含めると報道は300回以上となりました。合わせて、視察や講演依頼など多く寄せられました。

◆平成18年から継続しておこなっているカエデ植林事業は平成24年には累計9000本を超えました。

◆カエデ菓子売上は初年度が約150万円、翌年が約900万円、3年目で約1800万円、通年販売ができた平成23年は3500万円。その後は4000万円前後で推移しています。樹液採取は地元の高齢者が応援、シロップ化作業は地元の高齢者活性化センターが担当、植林は子供たちと一緒にするなど絆事業となっています。令和元年始めたり・ブランディング事業では令和2年に道の駅4か所が拡販に協力、コロナ禍で売上増が期待される。また、サンフランシスコ国際空港のJALさくらラウンジで採用されたり、大手ジュエリーメーカーの景品に採用されるなど話題は事欠かない。

◆カエデのラムネ事業は、元気な高齢者が葉っぱを採りに協力。

ラムネの売上の一部を森に戻す仕組みになっており、現在、埼玉県と秩父市へ120万円が戻され(寄付)て森林保全のために活用されています。

◆太白芋活用事業では、生産者が1人で耕作面積5aだけだったのが、生産者19名、耕作面積120aになりました。

工夫した点や苦勞した点

同業者で事業を行うときはベクトルを合わせることに注力してください、方向性が見えなくなる方が直ぐに出てきます。また、多くの方、団体と協力していかなければ成しえないことが多くありますので、信頼関係を維持するためにコミュニケーションを密にすることがとても大切だと思っています。

地域資源活用事業は、「難しいから面白い」とか「諦めるな時間がかかるのは当たり前」と考えて活動しています。「地域のために&未来のために」は講演などで最後に伝える言葉です。

ひとことPR

地域資源活用では、和同開珎ゆかりの聖神社を銭神様プロジェクトと称し復活させ、今や秩父の定番スポットに仕上げました。「願い石巡礼」では名刹や名所とご利益等に相応しいパーストーンを組ませて秩父全域を周遊させるプログラムも進行中。外国人観光客誘致や案内人の育成にも取り組んでいます。食部門では、小屋飯プロジェクトと称し「みそポテト」などが名物に成長しました。秩父市のイメージキャラクター「ポテくまくん」はみそポテトの大好きな熊。また、秩父人独特なワインの飲み方「かちわりワイン」のブランド化事業も定着してきています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

お菓子な郷(くに)推進協議会	http://www.okashinakuni.jp/
秩父菓子処 栗助	http://www.kurisuke.jp/
ゆの宿 和どう	http://www.wadoh.jp/

連絡先

メールアドレス	okashinakuni[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	-------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。